

成果指標				
成果指標	観光入り込み客数			
指標設定の考え方	施設の管理及び整備により施設利用者の増減が考えられる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	550000	550000	550000	550000
実績	547040	596228	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	観光入り込み客数が昨年度より上昇しており、今後もPRを続け、更なる利用者増に努めたい。施設も老朽化が進んでおり、将来的に大幅な改修工事の必要性に迫られている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	指定管理者制度を導入して施設管理運営を行っているが、施設設備の老朽化が著しく、集客力の低下が予想されるため改修基本計画を基に長寿命化を視野に入れた思い切った改修が必要と思われる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	厳しい財政状況の中で改修事業を実施しようとしており、最小限の経費で、最大限の事業効果が現れるよう、事業計画の作成を求む。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。